

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	25110
政策名(章)	第5章 基地全面返還の実現をめざします	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 基地の早期返還と市民のための跡地利用の実現	評価担当課	渉外課
施策名	基地の早期返還の実現	課長名	小林 茂

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

市内3箇所が存在する米軍基地の全面返還を基本としつつも、当面、まちづくりを進める上で必要な部分や遊休化している部分についての一部返還や共同使用の早期実現を国や米軍に求める。  
 市米軍基地返還促進等市民協議会とともに、15箇所の一部返還・共同使用の実現を国・米軍に要請しており、このうちキャンプ座間の市道新戸相武台の拡幅、共同使用の拡大が日米合同委員会で合意され、さらに相模総合補給廠の北側道路についても、協議中である。  
 なお、平成18年5月には日米両国政府により、相模総合補給廠の一部返還や共同使用が合意されている。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		17,519,231	在日米軍再編問題への取り組みに要する費用
人件費		28,175	
市民一人あたりの事業費	16,673	26,308	
合計	10,270,816	17,547,406	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

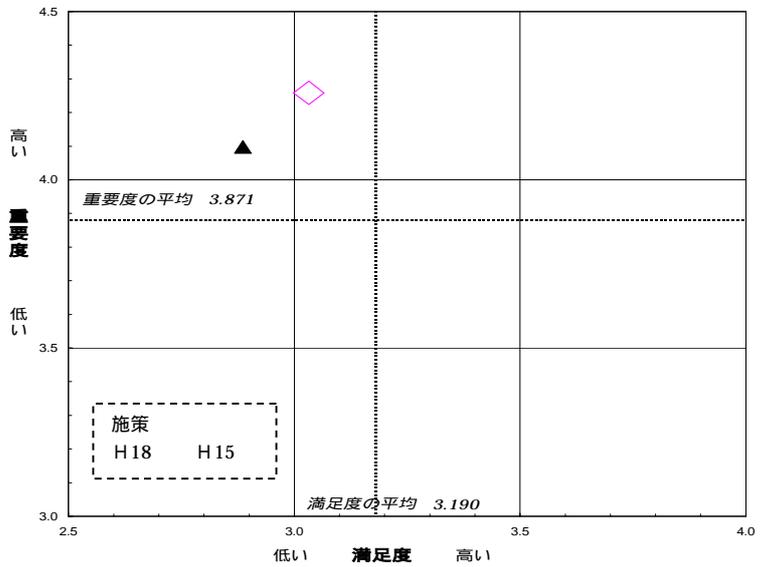
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	一部返還、共同使用の実現率 実現箇所÷要請箇所*100	一部返還及び共同使用を要請している箇所の実現化率	80(%)	14
指標2	全面返還の達成率 返還面積÷市内米軍基地及び基地跡地面積*100	元の米軍基地面積に対して、返還が実現した基地面積の比率	27(%)	14
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	83 / 83	19	85	21	88	基準年の基準値から最終年度の目標値達成に向けて、値を遡増させていく。
達成率	100%					
指標2	27 / 27	19	29	21	30	基準年の基準値から最終年度の目標値達成に向けて、値を遡増させていく。
達成率	100%					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.032で51施策の中で47番目。  
 重要度は4.258で6番目である。  
 改善要望度は0.3853で4番目である。  
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、20歳代でもっとも低くなっている。  
 重要度は70歳以上でもっとも高く、40歳代以下で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはみられないが、重要度は大幅に上がっている。  
 満足度の順位では、40歳代で前回調査より大幅に上がっている。  
 重要度の順位では、50歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	2 1	指標1及び指標2の達成率ともに100%で、目標どおりの成果を上げている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 1	基準年度と比較して、事業コストは増加しているが、効果は上がっている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	重要度が6番目と高く、満足度は47番目と低い。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	あくまでも米軍による基地使用は、国策である。
解決策	市街地に米軍基地があることの負担を訴え、日米両政府に市内基地の返還を働きかける。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



